

長泉麗峰山の会・山行報告書	文・加藤 写真・後藤
山行番. NO.2036	
日 時 2024年3月17日(日)晴・午前風やや有り	
山 域 上越・谷川岳(トマノ耳1963m、オキノ耳1977m)	
コース ロープウェイ駅発8:30-天神平発8:52-熊穴沢避難小屋9:57-ザンゲ岩(ザンゲ岩は西黒尾根にもあり)10:50-肩の小屋11:25-山頂11:38~48-避難小屋(昼食)11:58~12:15-天神平14:30	
標高差 天神平約1300m~谷川岳1963m=約663m	
難易度 非常に困難 困難 やや困難 レ普通 やや易しい 易しい	
やっぱり、谷川岳は、スンバラシイ！！	
ど〜が〜 https://susono-reihou.babyblue.jp/00-46mp4.mp4	
参加者 後藤、加藤、山田=3名	

5時起床。手早く朝ごはんを食べ宿発。湯沢インターから関越道に乗り、谷川インターで降りて谷川岳ロープウェイに向かう。谷川岳は、一の倉沢など、ロッククライミングで有名な所だ。今日は一般登山道で、しかも標高1321mまで一気にロープウェイで上る天神尾根コースだ。CLに言わせると、「観光登山」である。昨日がラッセルで辛かったので観光登山は嬉しい。ヤッホー、レイホーである。



天神平



スキー場

この日の駐車場は無料開放だった。ラッキー！ロープウェイ乗車券は往復3千円。係員の上着に「星野リゾート」のネームが入っているので聞いてみたら、2年前に変わったとのこと。そうか。やり手だな。でも駐車場を無料にしてくれているから有難い。

8時半始発に乗り込む。今日は土曜日なのに人が少ないという。途中窓から下を覗くと、「え〜！カモシカ〜？」雪の中に僅かに出ている小さな木の葉を食べていた。この時期雪の中でどの位餌にありつけるのだろうか。

天神平に到着。目の前の小高い丘までリフトが動いていた。リフト代500円。お金が惜



満点パパ

しいわけではなく、山ヤなら歩け？

アイゼンを装着して出発。夏道と違って、リフトを回り込み尾根に向かうが最初から急登だ。あまり寒くもなくこの時点では風もない。直ぐに汗が吹き出し衣服調整をする。昨日と違って今日はアスファルト道路並だ。ラッセルがない。アイゼンも効き歩き易い。とは、言っても雪山は雪山だ。侮ってはいけない。

すっぱり切れたトラバース、落ちたら真っ逆様に地獄の蓋が開く。急登の登下降は滑ったらアウトだ。一步、一步確実に足を運ぶ。熊穴沢の頭を過ぎ、避難小屋で休憩。

見上げる谷川岳は威風堂々と素晴らしい。この頃から風が出始め、防寒服を着込む。更に急登が待っていた。写真撮りながらのCLを待ち待ち、脇を登山者が追い越して行く。天狗の溜まり場まで来ると後一登りだ。

右に見える西黒沢が広大な斜面を見せていた。言わずばなるまいとばかりに、山ちゃんに、「わたし、此处を滑って下ったんだよ」。山ちゃん「へーっ、凄〜い！」先輩風を吹かす。ついでに西黒尾根を登っている人達が見えたので、指で、「それもスキー板担いで西黒尾根に登り、頂上から西黒沢を滑り、熊穴沢から沢に滑り込んだ」と、今では絶対無理な遠い昔の話をしてしまった。懐かしいなあ！あの頃が。

後を振り返ると、次々と登る登山者でシュプールが刻まれた。正にヒマラヤ状態？ カップパの彩りが、白い雪の中に映えてとても綺麗だ。時折強い風に耐風姿勢をとりながら、肩の小屋を通り過ぎ頂上（トマの耳）着。



熊穴沢避難小屋



クレージーな外人さん

雪面にできたエビの尻尾でいかに風が強いかわかる。見た目が舞茸にそっくりだ。記念撮影をして早々に小屋に戻る。

小屋には既に風を避けた場所で休憩している人達で満杯だったが、それでも僅かな空間を陣取って行動食をつまむ。この寒いのに、長袖をたくし上げ、半ズボンの外人さんがいた。

CLが見逃すはずが無い。案の定「クレイジー」と、声をかけた。写真を撮らせてくれと言うと、「オッケー」と、半ズボンを更にたくし上げ、ひょうきんに踊ってくれた。皆で大笑い！外人さんの太ももは真っ赤に染まり、むく毛の先は霜がおりていた。それでも寒くは感じないのだろうか？

冬場で小屋のトイレは閉鎖していた。小用から帰ってきたCLが、小屋の入り口で（大）をしている人がいたと。信じられない！登山者の恥だ。出物腫れ物ところ嫌わずと言えど、場所を選べと言いたい。広大な雪原風景の素晴らしさを堪能してきただけに、そんな登山者がいたことがとても残念だ。

下りは早い。西黒沢にスキーのシュプールが刻まれていた。気持ち良かったらうなあ？下りながら周りの山が見えてきた。万太郎尾根がナイフリッジの険しさを見せ、行く手を阻んでいるかのようだ。上から目線で登ってきたコースを見ながら下るのも良いもんだ。



山頂



肩ノ小屋

尾根には邪魔する物が何もないので、遠望を楽しめスッキリした尾根上の白さの中に、鮮やかな彩りの上着がポツポツと色を添える。雪山でなければ見られない風景だと改めて思った。最後に降り立つ天神平の上で、暫し休憩。山ちゃん感激！シュパッとビールで乾杯！極上のひととき！を楽しんだ。

登ってきた谷川岳に後ろ髪を引かれる思いで後にする。帰りのロープウェイの中で、「今年2回カモシカを見たからもう一度見れるかもね」と、何気に口にしたら窓際にいた男性が「下にカモシカがいる」だって。ホントかよと思って下を見たらいました。カモシカが。2度ある事は3度あるって本当でした。

谷川岳初めての山ちゃん、再度訪れたいと言ってました。CLは天神平のスキー場が気になるらしく、滑ってみたいと言ってました。今回の山旅サイコーでした。満足！



素晴しきかな谷川岳



展望台



天神平